

平成 27 年度 会派調査研究報告書

会 派 名	上 田 新 風 会
事 業 名	S T O P 地球温暖化！ 推進フォーラム
事 業 区 分	研究研修 調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

東京ビッグサイトを会場に、「第 24 回環境展」と「第 7 回地球温暖化防止展」が開催された。持続可能な社会をつくるため、自治体による CO2 削減は、重点施策のひとつである。上田市では新エネルギービジョンを策定しているが、太陽光発電以外は、目標数値の達成が難しい状況である。

そこで、木質バイオマス、食品由来のバイオマス、小水力などの再生可能エネルギーに関する、最新技術・先端産業の現状を研修し、再生可能エネルギーの利活用と上田市の CO2 排出削減に役立てたい。

2 実施概要

実 施 日 時	研修地	東京都 江東区 有明 東京ビッグサイト
平成 27 年 5 月 27 日(水) 13:00 ~ 平成 27 年 5 月 28 日(木) 13:00 ~	主催者	日報ビジネス株式会社
研 修 内 容	<p>1 平成 27 年 5 月 27 日(水) セッション</p> <p>(1) 演題 「広がる設置事例と小水力発電の普及の課題」</p> <p>(2) 講師 全国小水力利用推進協議会 事務局長 中島 大 氏</p> <p>(3) 内容 ・地域づくりに活かす小水力発電 ・村営、組合営、住民出資の地域発電 ・事例紹介 ・支援・支援組織の在り方</p> <p>2 平成 27 年 5 月 28 日(木) セッション</p> <p>(1) 演題 「木質バイオマス発電の最新動向と課題」</p> <p>(2) 講師 (一社)日本木質バイオマスエネルギー協会 会長 熊崎 実 氏</p> <p>(3) 内容 ・木質バイオマス発電を巡る 3 つの論点 ・ドイツにおける木質原料のマテリアル利用とエネルギー利用の推移 ・木質バイオマスプラントの発電コスト ・木質エネルギーは、中山間地のエネルギー ・中山間地における木質バイオマス利用の構図</p>	



3 まとめ

上田市では新エネルギービジョンを策定しているが、このうち「バイオマス利用」は、全く手付かずであり、チップボイラー導入による市域の70%を占める森林資源の木質バイオマスとしての利活用や、各家庭から排出し焼却処分されている生ゴミをエネルギー資源と捉え、バイオマス発酵ガスによる発電施設を建設するなど、資源として活かせる方法を探るべきである。

併せて、賦存量が豊富である小水力発電など、再生可能エネルギーによる地域おこしも視野に入れた施策が必要である。